

ナポレオンの缶詰、200年後。

缶詰誕生のきっかけは、ナポレオンが遠征のために美味しく腐らない兵食を要請したこと。およそ200年を経た今、缶の材料となるブリキ需要は世界中で高まり、より優れた品質と耐久性が求められています。新日鉄住金では、板厚0.2ミリという極薄で軽くて強いうえに、加工しやすい機能性を実現。大量輸送の効率も向上させ、CO₂排出を低減します。こうしたブリキを生産できるメーカーが限られているなかで、私たちは世界最大級の生産・供給体制を構築。これからもさらなる技術革新で、グローバルな食の安全・安心に貢献していきます。

世界の鉄へ しんにってつすみぎん